

平成30年度上半期取組状況について

項 目		具 体 策	30年度事業計画 重点取組事項	平成30年度 取組状況 (H30.10月末時点)	平成29年度 取組状況 (H30. 3月末時点)
I 府内全域の図書館をつなぎ、支援するとともに、協力して図書館サービスを展開します					
1	府内の各図書館とのネットワークの強化	(1) 総合目録ネットワークシステム(K-Libnet)の確実な運用と加盟機関の拡大	○総合目録ネットワークシステムの充実《継続》 ▷ 検索システムに連携する大学図書館及び国会図書館関西館を追加 ○総合目録ネットワークシステムの加盟機関《拡充》 ▷ 83機関⇒87機関 ○大学と連携して相互貸借の利便性を高め、より効率的に資料を府内全域で共有 ▷ 大学との相互貸借《拡充》 ⇒大学4校と協議(京都府立大学・京都工芸繊維大学等) ○総合目録ネットワークシステムの充実を図るための国立国会図書館、同志社大学、筑波大学、千葉大学、カーリル社との産官学プロジェクト《継続》 ▷ クラウドソーシングで突合したもののうち、約500冊について現物の書籍等と突合(6月～) ○相互貸借のための連絡協力車を週2回巡回《継続》 ○市町村立図書館等への職員巡回《継続》 ▷ 年間4回・5コース・2～3人	○総合目録ネットワークシステムの充実と加盟機関の拡充 ▷ 国立国会図書館関西館の検索追加(10月3日) ▷ 京都工芸繊維大学附属図書館の加盟(10月1日協定締結、10月3日相互貸借開始)83機関⇒84機関 ○大学との相互貸借《拡充》 ▷ 京都華頂大学(8月3日)、京都府立大学(8月31日)、花園大学(9月28日)に訪問打合せ ○産官学プロジェクト《継続》 ▷ データクラウドソーシングで突合したデータ結果を検証するため、国立国会図書館所蔵資料とともに、府内図書館20館の所蔵資料約450件について、現地調査を実施。現在、プロジェクトにおいて調査結果をもとに検証作業中。 ○相互貸借のための連絡協力車を週2回巡回《継続》 ▷ 巡回回数 186回(4月～9月) ▷ 搬送冊数 28,189冊(4月～9月) ○市町村立図書館への職員巡回《継続》 ▷ 6月～7月、9月に5コースを各2～3人で巡回	◆ 総合目録ネットワークシステムの充実《継続》 ▷ 検索システムに連携している大学図書館を追加(4大学) ▷ 学校支援セット貸出の申込みの追加(府立学校49校) ◆ 総合目録ネットワークシステムの加盟機関《拡充》 ▷ 30機関⇒83機関 ▷ 府立学校49校・大学4校が加入 ◆ 大学との相互貸借《拡充》 ▷ 京都教育大学(4月～)、福知山公立大学(6月～)、佛教大学(9月～)、京都府立医科大学(2月～)試行等実施 ◆ 総合目録ネットワークシステムの充実を図るための国立国会図書館、同志社大学、筑波大学、千葉大学、カーリル社との産官学プロジェクト《継続》 ▷ 機械的に突合できないものについてクラウドソーシングを実施(29.2.14～) ◆ 相互貸借のための連絡協力車を週2回巡回《拡充》 ▷ 巡回回数 ② 240回→③ 376回 ▷ 搬送冊数 ② 51,198冊→③ 55,384冊 ◆ 市町村立図書館等への職員巡回《拡充》 ▷ 訪問人数:② 1人→③ 3人 ▷ 訪問時間:② 約30分→③ 約50分 ▷ 年間4回・5コース
		(2) 府内各大学との相互貸借の促進			
		(3) 共同研究等を通じたシステム改善と利便性の向上			
		(4) 府内の図書館との物流改善			
		(5) 職員の府内各機関巡回の維持・拡充			
2	市町村立図書館等への支援	(6) 市町村立図書館支援のための資料の充実		○市町村立図書館等支援のための資料の充実《継続》 ▷ 4月～9月 購入冊数1,984冊 ▷ 内 リクエスト受付数:193件 ▷ パッケージ化した展示資料の貸出⇒ニーズに合う支援策を検討中 ○図書館運営に関する情報の積極的な収集と提供《継続》 ▷ 6月～7月、9月に5コースを各2～3人で巡回 ▷ 市町村立図書館長会議開催(4月25日) ○市町村立図書館職員等の研修《継続》 ▷ 相互貸借初心者研修(5月24日)、レファレンス(初級)研修(7月13日) ▷ 【出前研修】 10月2日(京丹後市立図書館:レファレンス) 10月26日(亀岡市立図書館:図書館業務入門) 11月29日(八幡市立図書館:図書の新規) ○市町村立図書館等のレファレンス機能の支援《継続》 ▷ 市町村立図書館等からのレファレンス(178件) ○市町村立図書館と協働したイベントの開催 ▷ ウィキペディアタウンへの協力(南山城村 7/22、京丹後市 9/8)	◆ 市町村立図書館等支援のための資料の充実《継続》 ▷ 資料収集方針に基づいた資料の購入(② 6,825冊) ▷ 市町村立図書館等からのリクエスト受付件数(② 344件) ▷ 貸出文庫の貸出期間の緩和と書類等の簡素化 ◆ 図書館運営にかかる情報の収集と提供《継続》 ▷ 市町村立図書館等の職員巡回(年間4回・5コース・3人) ▷ 年度当初に市町村立図書館長会議を開催 ◆ 市町村立図書館職員等の研修《継続》 ▷ 年間7回研修を実施 ◆ 市町村立図書館等のレファレンス機能の支援《継続》 ▷ レファレンス研修(初級・中級)の実施 ▷ K-Libnetを活用した市町村立図書館等からの相談に対応(レファレンス件数:② 488件) ◆ 京都府民力推進課と共同で実施する「プラットフォーム事業」を市町村立図書館で実施 ▷ シラベルin滋野学区(H29.7.9 京都市右京中央図書館) ▷ 亀岡城探検隊～ぼんの世界から飛び出しちゃえ!～(シラベル子ども版in亀岡)(H29.7.26 亀岡市立中央図書館) ▷ シラベルin城陽(H30.1.25 城陽市立図書館)
		(7) 図書館運営にかかる情報の積極的な収集と提供			
		(8) 市町村立図書館職員等へのより充実した研修の実施			
		(9) 市町村立図書館のレファレンス機能充実への支援強化			
		(10) 各機関で協働した展示・イベントの開催			
3	学校支援の充実	(11) 児童・生徒の調べ学習や学生の調査研究の積極的な受け入れ	○調べ学習や調査研究の受け入れ《継続》 ▷ 小・中・高・専門学校・大学の児童生徒・学生の調べ学習の受け入れ ▷ 京都教育大学の学生による教科書の調査研究を受け入れるとともに研究成果を風除室で展示 ○学校図書館運営のための支援《継続》 ▷ 総合教育センター主催「図書館教育講座」への協力 ○学校支援セット貸出資料の充実《継続》 ▷ 小・中・学校教育研究会図書館教育部会、府立高校図書館司書部会と連携を図った学校支援セットの充実《新規》 ○特別支援学校への支援の充実《継続》 ▷ 特別支援学校長会と連携した資料の充実を検討	○調べ学習や調査研究の受け入れ《継続》 ▷ 受入実績…15校・団体、計326人(～10月23日) ▷ 小1校(37人)、高校4校(119人)、大学7校(82人)、専門学校1校(74人)町議会(7人)、都道府県(7人) ○大学からのインターンシップの受け入れ ▷ 京都女子大学司書課程履修者15名のインターンシップを受け入れ ○学校図書館運営のための支援《継続》 ▷ 総合教育センター主催「図書館教育講座」への協力 ～調べ学習を支援する学習センターとしての図書館の在り方～ 8月21日(火)、教職員40人が来館、講義及び館内見学を実施 ○学校支援セット貸出資料の充実《継続》 ▷ 総合教育センター(北部含む)での学校支援セット貸出の展示(7月～) ▷ 総合教育センターの協力のもと、学校支援セット貸出のホームページの改善に向けて検討 ▷ 府立高校図書館協議会司書部会が実施したアンケート結果をもとに充実策について検討 ▷ 小・中学校教育研究会図書館教育研究部会への学校支援セット貸出の説明(6月～) ▷ 市町村図書館・読書施設職員巡回において学校支援セット貸出充実に向けて意見聴取及びチラシの配布依頼 ○特別支援学校への支援の充実《継続》 ▷ 特別支援学校長会役員会で意見を聴取	◆ 調べ学習や調査研究の受け入れ《拡充》 ▷ 小・中・高・専門学校・大学の児童生徒・学生の調べ学習の受け入れ(②小中学生3回95人、高校生4回145人、専門学校生1回64人、大学生3回44人) ▷ 同志社大学や府立大学の学生による蔵書に関する調査研究を受け入れ《新規》 ▷ 京都教育大学の学生による教科書の調査研究を受け入れるとともに研究成果を風除室で展示 ◆ 学校図書館運営のための支援《拡充》 ▷ 府立学校については 総合目録ネットワークシステムに加入することにより資料の申込みが簡素化《新規》 ▷ 貸出文庫の貸出対象を府立学校に拡大《新規》 ▷ 総合教育センター主催「図書館教育講座」に協力 ◆ 学校支援セット貸出資料の充実《継続》 ▷ 市町村立図書館等への学校支援セット(小中学校版)の貸出セット数を拡充 ▷ 総合目録ネットワークに学校支援セット貸出の申込みを追加《新規》 ◆ 特別支援学校への支援の充実《継続》 ▷ 見えにくい方を対象とした「拡大読書器やルーペの使い方講座」、個別相談会を実施《新規》(H29.8.5 参加者11名)
		(12) 学校図書館運営のための支援の充実			
		(13) 学校支援セット等の資料の充実と提供方法等の改善			
		(14) 特別支援学校への資料や情報提供などの支援強化			
4	子ども読書活動の支援	(15) 児童サービス等に関する情報の集積と発信		○子ども読書本のしおりコンテストの実施《継続》 ▷ 応募数(9,566件) ▷ 11月7日京都府庁から入選作品の巡回展示を開始 ○「子どもの居場所づくり」や「子ども食堂」を実施している団体に本を貸し出す「子どもへの読書活動支援事業」の実施 ▷ 13団体、967冊貸出中(うち30年度 10団体、717冊貸出) ○長期休暇等を活用した子どもの読書活動を支援する取組を研究 ▷ 三重県立美術館で実施された子どもの読書活動事業を視察(5月4日) ○インターンシップによる読み聞かせ ▷ 岡崎ワールドミュージックフェスタで「アフリカ民話のおはなし会」を開催、インターンシップの学生3名により、子どもたちに読み聞かせを実施。(10月21日)	◆ 子ども読書本のしおりコンテストの実施《継続》 ▷ 応募数の増加(② 8,718件→③ 9,696件) ▷ 市町村立図書館等での巡回展示(② 30施設→③ 33施設) ◆ 「こどもの居場所づくり」や「子ども食堂」を実施している団体に本を貸し出す「子どもへの読書活動支援事業」を実施《11月～新規》(11団体、787冊貸出)
		(16) 子ども読書本のしおりコンテスト等の事業推進			
		(17) 子ども読書活動に関するワークショップ等の実施			
		(18) 多様な講師を招聘した研修の実施			

平成30年度上半期取組状況について

項 目		具 体 策		30年度事業計画 重点取組事項	平成30年度 取組状況 (H30.10月末時点)	平成29年度 取組状況 (H30. 3末時点)
Ⅱ 多様な文化資源の情報を取り扱い、歴史と立地を活かしながら、幅広い調査研究のニーズに応えます						
5	多様な資料の収集・整理・提供	(19)	収集方針にそった多様な形態の資料の積極的な収集	○収集方針にそった資料の収集《継続》 ▷ 資料の収集 ▷ 各施設との連携事業や図書館連続講座にあわせた資料の収集 ○ 目録・検索機能の充実《継続》 ▷ 国立国会図書館、同志社大学、筑波大学、千葉大学、カーリル社との産官学プロジェクトの実施 ▷ 検索システムに連携する大学図書館・国会図書館関西館を追加(大学図書館4館) ○逐次刊行物の巻号情報の遡及入力	○収集方針にそった資料の収集《継続》 ▷ 資料の収集(6,348冊:4月～9月) ▷ 各施設との連携事業や図書館連続講座にあわせた資料の収集 ▷ DVD上映会(活用講座)により視聴覚資料の提供機会を拡大し、(今年度5回)、上映用のDVD資料収集を強化 ○目録・検索機能の充実《継続》 ▷ 京都工芸繊維大学・国立国会図書館関西館追加(10月3日) ▷ データクラウドソーシングで突合したデータ結果を検証するため、国立国会図書館所蔵資料とともに、府内図書館20館の所蔵資料約450件について、現地調査を実施。現在、プロジェクトにおいて調査結果をもとに検証作業中。 ○逐次刊行物の巻号情報の遡及入力 ▷ 遡及入力と登録点検(300誌) ▷ データ化されていない逐次刊行物の特集内容を登録	◆ 収集方針にそった資料の収集《継続》 ▷ 資料の収集(㊹ 11,010冊) ▷ 各施設との連携事業や図書館連続講座にあわせた資料の収集 ◆ 目録・検索機能の充実《継続》 ▷ 国立国会図書館、同志社大学、筑波大学、千葉大学、カーリル社との産官学プロジェクトの実施 ▷ 検索システムに連携している大学図書館を追加 ▷ 逐次刊行物の巻号情報の遡及入力(㊹ 50誌 ㊹ 211誌) ◆ 開架スペースへの配架の工夫(継続) ▷ 源氏物語コーナーの刷新 ▷ 小説の中の京都コーナーの充実
		(20)	目録・検索機能の向上			
		(21)	限られた開架スペースへの配架の工夫			
6	十分な収蔵空間の確保による資料の的確な保存	(22)	保存センターの役目を担う図書館としての収蔵量の確保	○ 収蔵量の確保 ▷ 収蔵スペースの確保に向けた他施設の研究 ○資料の適切な保存《継続》 ▷ 複本調査の実施と適切な廃棄	○収蔵量の確保 ▷ 遊休府有地・府施設及び府施設の空きスペースの確認 ○資料の適切な保存《継続》 ▷ 未登録書庫資料の確認(英語雑誌等)及び欠号の調査と補充を強化 ▷ 複本の除籍(4月～9月:400冊)	◆ 資料の適切な保存《継続》 ▷ 複本調査の実施と適切な廃棄
		(23)	資料の適切な保存と書庫環境の改善			
		(24)	府内1冊所蔵図書の的確な把握・移管			
7	資料館・博物館・大学等と連携した文化資源の情報発信	(25)	府立総合資料館との連携の強化	○京都学・歴史館との連携 ○ 博物館等の関連施設との連携《拡充》 ▷ 京都大学総合博物館と連携した企画展示の実施(「足もとに眠る京都～考古学からみた鴨東の歴史～」H30.3.23～)他 ○ 大学等の連携の強化《拡充》 ▷ 有斐斎弘道館と連携した企画展示と図書館活用講座の実施《新規》 ▷ 京都府立医科大学附属図書館での展示に資料を貸出 ▷ 府内の大学等の研究者を招いて、図書館連続講座の実施(年間8回) ○ 近隣文化施設と連携《継続》 ▷ 「京都岡崎魅力づくり推進協議会」主催の事業に積極的に参加 ◇「岡崎プロムナード星の饗宴(京の七夕連携事業)」にあわせ、「音の図書館」を実施 ・府立鳥羽高等学校吹奏楽部による演奏 ・内田奈織氏等によるハーブとオーボエ演奏による館内コンサート ・演奏者にあわせ選書した蔵書を会場に展示 ◇「岡崎ときあかり annex2018」で府立図書館賞の授与と風除室で受賞作品映像の展示 ◇芸術イベント「OKAZAKI LOOPS」の館内コンサートに協力 ・演奏者にあわせ選書した蔵書を会場に展示 他 ▷ 国立近代美術館の企画展示にあわせたミニコーナーの設置 ◇「明治150年展 明治の日本画と工芸」(H30.3.20～5.20) 他 ○ 大学との相互貸借(拡充) ▷ 大学4校と協議(京都府立大学・京都工芸繊維大学等)《再掲》	○博物館等の関連施設との連携《拡充》 ▷ 京都大学総合博物館と連携した企画展示 ◇「足もとに眠る京都～考古学からみた鴨東の歴史～」(H30.3.23～6.27) ◇「ノーベル賞化学者を育んだ教室」(H30.10.3～12.9) ○大学等の連携の強化《拡充》 ▷ 有斐斎弘道館との連携による活用講座＋ワークショップを実施 活用講座「京菓子をデザインしよう」(7月22日) ▷ 大学等の研究者を講師とする図書館連続講座の実施 ①4月29日(日)105名、②5月27日(日)110名満席、③6月17日(日)103名、④7月14日(日)110名満席、⑤9月9日(日)51名＜雨天＞ ⑥10月14日(日)100名 6回計 579名 ○近隣文化施設と連携《継続》 ▷ 国立近代美術館の企画展示にあわせたミニコーナーの設置 ◇「横山大観」(H30.6.23～7.22) ◇「東山魁夷」(H30.9.6～9.22) ◇「藤田嗣治」(H30.10.26～) ▷ 京都市コンサートホールとの連携による活用講座＋ナクソス(音楽データベース)体験を実施(8月12日) ◇「ドビュッシー没後100年企画 レクチャー＆音楽鑑賞、ナクソス体験」 ▷ 岡崎プロムナード:星の饗宴「音の図書館」の実施(8月11日土祝) ◇府立鳥羽高校吹奏楽部による演奏 17:20～18:00 観客250名 ◇音の図書館館内コンサート 19:00～20:00 内田奈織によるハーブ演奏 応募139名 当選111名、演奏者の関連選書した蔵書を会場に展示 ▷ 岡崎ときあかりannex2018 ◇9月15日(土)書道パフォーマンス実施 17:20～18:00 府立洛西高校書道部、府立菟道高校書道部 観客300名 ◇プロジェクションマッピング府立図書館賞授与 吉橋祐香さんの作品「平成最後の夏祭り」 ※9月19日～10月24日まで図書館エントランスにて交互に動画で展示 ▷ 「OKAZAKI LOOPS」の館内コンサート 6月23日(土)19:00～20:00 青葉市子(ギター弾き語り) ・演奏者にあわせ選書した蔵書を会場に展示 ・青葉氏サイン入りおりを当館蔵書に挟み、来場者が探すイベントを実施 ▷ 近隣美術館と連携し、館内資料の魅力を前景化した活用講座を実施 ◇「岡崎周辺武田五一の建築巡り」(細見美術館にあわせたコーナー設置) ◇「藤田嗣治挿絵紹介＋ワークショップ」(近美にあわせたコーナー設置) ▷ 岡崎ワールドミュージックフェスタ2018への協力《新規》 ◇本山妙伝寺でのインターンシップ3名による「アフリカ民話のおはなし会」読み聞かせを実施(10月21日) ○大学との相互貸借《拡充》 ▷ 京都工芸繊維大学附属図書館の加盟(10月1日協定締結、10月3日相互貸借開始)、京都華頂大学(8月3日)、京都府立大学(8月31日)、花園大学(9月28日)訪問打ち合わせ	◆ 京都学・歴史館との連携《新規》 ▷ 職員研修として京都学・歴史館を視察(30名) ▷ 市町村立図書館等職員研修を京都学・歴史館で実施 ◆ 博物館等の関連施設との連携《拡充》 ◆ 大学等の連携の強化《充実》 ▷ 京都大学総合博物館と連携した企画展示(「標本から見る京都大学動物学のはじまり」H29.6.23～9.27) ▷ 国立博物館で実施される企画展示と関連したミニコーナーの設置(「国宝1200年」H29.11.1～11.29) ▷ 三重県立美術館での企画展示に資料を貸し出すとともに関連する企画展示を実施(「茶室とモダニズム」H30.1.5～3.21) ▷ 京都府立医科大学附属図書館での展示に資料を貸出(「おいしい食事」をH30.1.17～1.31) ▷ 府内の大学等の研究者を招いて、図書館連続講座を実施(年間 6回) ◆ 近隣文化施設と連携《拡充》 ▷ 「京都岡崎魅力づくり推進協議会」主催の事業に積極的に参加 ○ 「岡崎プロムナード星の饗宴(京の七夕連携事業)」にあわせ、「音の図書館」を実施 ・ 府立北稜高等学校吹奏楽部による演奏 ・ 通崎睦美氏等による木琴とマリンバ演奏による館内コンサート ・ 演奏者にあわせ選書した蔵書を会場に展示 ○ 芸術イベント「OKAZAKI LOOPS」の館内コンサートに協力 ・ 演奏者にあわせ選書した蔵書を会場に展示 ○ 「岡崎ときあかり annex2017」で府立図書館賞の授与と風除室で受賞作品映像の展示 ▷ 国立近代美術館の企画展示にあわせたミニコーナーの設置 ○ 「バーナードリーチ生誕130年」(H29.3.24～6.21) ○ 「岡本神草の時代」(H29.11.17～12.10) ○ 「ゴッホ巡りゆく日本の夢」(H30.1.20～3.4) ▷ 国立近代美術館の視覚障害者向け解説文・解説図作成に協力 ▷ ロームシアターへの催しにあわせたミニコーナーの設置 ○ 「歌舞伎と顔見世」(H29.12.1～12.27) ▷ ロームシアターの実施する「小澤征爾塾オペラプロジェクト」に協力 ▷ 細見美術館と連携した企画展示等の実施 ○ 企画展示「杉浦非水の装丁」(H29.5.4～6.21)及びワークショップを実施
		(26)	博物館等の関連施設との連携の強化			
		(27)	大学等との連携の強化			
		(28)	近隣文化施設との連携の強化			
		(29)	府内各大学との相互貸借の促進(2再掲)			

平成30年度上半期取組状況について

項 目		具 体 策		30年度事業計画 重点取組事項	平成30年度 取組状況 (H30.10月末時点)	平成29年度 取組状況 (H30. 3月末時点)
8	電子図書館サービス・デジタルアーカイブなどへの展開	(30)	国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の充実	○国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」を活用した講座の実施 ▶ 様々な関係機関と連携したセミナー等の実施	○国立国会図書館デジタルを活用した館内講座の実施 ▶ 「藤田嗣治挿絵紹介＋ワークショップ」(予定)	◆ 国立国会図書館「図書館向けデジタル化資料送信サービス」の充実《継続》 ▶ 図書館活用講座で国会図書館デジタルコレクションを活用したワークショップを実施
		(31)	利便性の高い各種データベースの提供の促進	○利便性の高い各種データベースの提供《継続》 ▶ 電子書籍(語学等)導入に向けた研究 ○価値ある資料のデジタルアーカイブ化《継続》 ▶ 同志社大学の「明治期から戦後期における日本観光資料群のデジタル化プロジェクト」に協力	○利便性の高い各種データベースの提供《継続》 ▶ DVD上映会「ギョスター・モロー/クリムト」(4月28日) ▶ DVD上映会「歴史秘話ヒストリア:西郷隆盛」(8月12日) ▶ ナクソス体験「ドビュッシー没後100年企画」(8月12日) ▶ DVD上映会「東山魁夷」(9月29日) ▶ データベースによる展示企画 ▶ 職員向け研修(医中誌Webデータベースの活用:10月25日)	◆ 利便性の高い各種データベースの提供《充実》 ▶ ディスカバリーサービスの実証実験を実施(H29.7.28～H30.1.24) ▶ 「シラベル×クラウドファンディング・ミーティング2017 3rd」を実施(H29.8.27) ▶ 日本政策金融公庫との共催で「クラウドファンディング活用セミナー」を実施(H29.10.1) ▶ 図書館活用講座で「データベース『日経テレコン』講座」等を実施
		(32)	電子書籍の動向を踏まえた導入	○価値ある資料のデジタルアーカイブ化《継続》 ▶ 同志社大学の「明治期から戦後期における日本観光資料群のデジタル化プロジェクト」に協力	○価値ある資料のデジタルアーカイブ化《継続》 ▶ 同志社大学の「明治期から戦後期における日本観光資料群のデジタル化プロジェクト」に協力。当館所蔵の貴重書資料を対象としてデジタル撮影を行い、情報発信をしようとするもので、年度内の公開を予定。撮影候補約35,000コマを選択中。	◆ 価値ある資料のデジタルアーカイブ化《新規》 ▶ 同志社大学の「明治期から戦後期における日本観光資料群のデジタル化プロジェクト」に協力
		(33)	価値ある資料のデジタルアーカイブ化と発信			
9	所蔵資料紹介・レファレンス業務の充実	(34)	職員のレファレンス能力の向上	○職員のレファレンス能力の向上《継続》 ○レファレンス協同データベースへの登録《継続》 ▶ レファレンス対応件数(6,994件) * 30.8.31時点	○職員のレファレンス能力の向上《継続》 ○レファレンス協同データベースへの登録《継続》 ▶ レファレンスの対応件数(6,994件) * 30.8.31時点	◆ 職員のレファレンス能力の向上《継続》 ◆ レファレンス協同データベースへの登録《継続》 ▶ レファレンスの対応件数(29 16,723件)
		(35)	レファレンスサービスの周知と利用促進	▶ 国立国会図書館レファレンス協同データベースに事例を入力(5件) ▶ 市町村立図書館等職員研修「相互貸借初心者研修」の講師を担当 ▶ 市町村出前研修の講師を担当 「レファレンス」(10月2日:京丹後市立図書館) 「図書館業務入門」(10月26日:亀岡市立図書館) 「図書の修繕」(11月29日:八幡市立図書館)	▶ 国立国会図書館レファレンス協同データベースに事例を入力(5件) ▶ 市町村立図書館等職員研修「相互貸借初心者研修」の講師を担当 ▶ 市町村出前研修の講師を担当 「レファレンス」(10月2日:京丹後市立図書館) 「図書館業務入門」(10月26日:亀岡市立図書館) 「図書の修繕」(11月29日:八幡市立図書館)	▶ 市町村立図書館等職員研修「レファレンス研修(初級・中級)」の講師を担当 ▶ 文部科学省主催の図書館地区別研修等に積極的に参加(5回・7名)
		(36)	レファレンス協同データベースへの積極的な登録	○レファレンスサービスの周知《継続》 ▶ 府教育委員会の広報ラジオに出演し、レファレンスサービスについて紹介 ○館内展示の充実《継続》 ▶ 1階・地階閲覧室・エントランスを活用した企画展示の実施 ▶ 月毎・時事・連続講座関連等のミニコーナーの設置	○館内展示の充実《継続》 ○テーマ別資料リスト、オープンデータの公開《継続》 ▶ 1階・地階閲覧室・エントランスを活用した企画展示の実施(18回) ▶ 「足もとに眠る京都」、「クリムト没後100年特集」、「災害関連パネル」等	◆ レファレンスサービスの周知《継続》 ▶ 京都府教育委員会の広報ラジオに出演し、レファレンスサービスを紹介 ◆ 館内展示の充実《継続》 ▶ 1階・地階閲覧室・エントランスを活用した企画展示の実施(29 13回) ▶ 「お茶の京都」、「杉浦非水の装丁」等
		(37)	多様な本や情報に出会える館内展示の展開	○テーマ別資料リスト、オープンデータの公開《継続》 ▶ 図書館連続講座にあわせた資料リストの作成 ▶ 企画展示、ミニコーナーでの資料リストの作成 ▶ 京都データストアでのテーマ別資料リスト及び写真のオープンデータの公開	▶ ホームページ上で所蔵図書・視聴覚資料の紹介(16回) ▶ 月毎・時事・連続講座関連ミニコーナーの設置(14回) ▶ 「七夕の本」、「秋の七草」、「古典の日:西行の世界」等 ▶ 視聴覚資料と図書資料を合わせた紹介(毎月HP) ▶ 岡崎ワールドミュージックフェスタに参加・協力し、冊子を作成・周知(10月21日、於:本山妙伝寺)	▶ ホームページ上で所蔵図書・視聴覚資料の紹介(29 31回) ▶ 月毎・時事・連続講座関連ミニコーナーの設置(29 26回) ▶ 「ノーベル賞受賞カズオイシグロ氏」等
10	来館者への貸出サービス等の充実	(38)	テーマ別資料リストや調べ方案内の充実とオープンデータでの公開			◆ テーマ別資料リスト、オープンデータの公開《継続》 ▶ 図書館連続講座、「OKAZAKI LOOPS」等様々な事業にあわせた資料リストの作成(29 8回) ▶ 企画展示、ミニコーナーでの資料リストの作成(29 26回) ▶ 京都データストアでのテーマ別資料リスト及び写真のオープンデータの公開
		(39)	貸出・返却時の利便性改善	○貸出・返却時の利便性の改善《継続》 ○カウンターサービスの向上《継続》 ▶ 京都市図書館との本の相互返却本格実施 ▶ 市町村立図書館等との相互返却に向けた検討 ▶ マイナンバーカードを図書館カードとして利用できる図書館共同利用システム実証事業に参加	○貸出・返却時の利便性の改善《継続》 ○カウンターサービスの向上《継続》 ▶ 京都市図書館との「返却資料お預かりサービス」(本の相互返却)を本格実施(H29.11.10～)による利便性向上 (府立→京都市1119冊、京都市→府立3021冊) ▶ マイナンバーカードを図書館カードとして利用(登録者8名)	◆ 貸出・返却時の利便性の改善《新規》 ◆ カウンターサービスの向上《新規》 ▶ 京都市図書館との本の相互返却試行開始(H29.11.10～)《新規》 (29 府立→京都市572冊、京都市→府立1615冊) ▶ マイナンバーカードを図書館カードとして利用できる図書館共同利用システム実証事業に参加(H29.12.1～)《新規》(29 登録者8名)
11	非来館サービスの充実	(40)	カウンターサービスのより一層の向上			
		(41)	各種の非来館サービスの周知と利用促進	○各種の非来館サービスの周知《継続》 ▶ 京都府教育委員会の広報ラジオを活用したサービスの周知 ▶ 報道機関への積極的な広報資料の配付と丁寧な取材対応 ○ホームページの掲載《継続》 ▶ 各種講座等の取組のアーカイブをホームページに掲載	○各種の非来館サービスの周知《継続》 ▶ FM京都「府教委広報」番組で、ラジオ出演し「子どもへの読書活動支援事業」について、広報(9月26日) ▶ 報道機関への積極的な広報資料の配付(4月～10月:広報資料配付17回、新聞掲載11回) ○ホームページの掲載《継続》 ▶ ホームページお知らせ欄(4月～9月)81回更新	◆ 各種の非来館サービスの周知《継続》 ◆ ホームページの掲載《継続》 ▶ 京都府教育委員会の広報ラジオを活用したサービスの周知(29 3回) ▶ 報道機関への積極的な広報資料の配付と丁寧な取材対応(29新聞掲載25回) ▶ 京都府インターネット放送局「生涯学習講座」に「図書館活用講座」等5本の動画を公開《新規》 ▶ ホームページのお知らせ欄を150回以上更新
12	障害者サービス等の拡充	(42)	ホームページに掲載する情報の充実			
		(43)	大活字本やデジター・マルチメディアデジター図書などの充実	○大活字本、デジター、マルチメディアデジター図書の充実《継続》 ○障害者差別解消法に基づくガイドラインへの対応《継続》 ▶ 障害のため府立図書館に来館できない人のためのサービスについて検討(郵送サービス等) ▶ 建築史を専門とする講師による図書館活用講座を実施し、建物のデザインや調度品について解説 ▶ 2階ナレッジベースにおいて1ヶ月程度旧館家具・建設具材等を展示・公開 ▶ 鳥瞰図のパネル展示等の工夫	○大活字本40冊、デジター、マルチメディアデジター図書23点を購入(4月～9月) ○障害者差別解消法に基づくガイドラインへの対応《継続》 ▶ 「心身障害者用ゆうメール」の館内運用の検討と左京郵便局との調整 ○特別支援学校への情報提供などの支援強化 ▶ 特別支援学校長会役員会で意見を聴取	◆ 大活字本、デジター・マルチメディアデジター図書の充実《継続》 (29 大活字本 87冊、デジター・マルチメディアデジター図書 46点) ◆ 障害者差別解消法に基づくガイドラインへの対応《継続》 ▶ 聴覚障害者への火災案内表示の作成 ▶ 国立近代美術館の視覚障害者向け解説文・解説図作成に協力
		(44)	障害者差別解消法に基づく各種ガイドラインへの適切な対応			
13	「歴史ある府立図書館」の演出	(45)	特別支援学校への資料や情報提供などの支援強化(14再掲)			
		(46)	鳳凰図(集書院天井画)の活用促進	○旧館家具・建設具材等の活用《継続》 ○吉田初三郎鳥瞰図の活用《新規》 ▶ 館内見学会で活用(12回) ▶ 建築史を専門とする講師による図書館活用講座を実施し、建物のデザインや調度品について解説 ▶ 2階ナレッジベースにおいて1ヶ月程度旧館家具・建設具材等を展示・公開 ▶ 鳥瞰図のパネル展示等の工夫	○旧館家具・建設具材等の活用《継続》 ▶ 毎月第三水曜日に実施する館内見学会で活用 ▶ 建築史を専門とする講師による図書館活用講座を実施し、建物のデザインや調度品について解説「岡崎周辺武田五一の建築巡り」(10月20日)	◆ 旧館家具・建設具材等の活用《継続》 ▶ 毎月第三水曜日に実施する館内見学会で活用(29 11回のうち3回は参加者多数のため臨時対応) ▶ 建築史を専門とする講師による図書館活用講座を実施し、建物のデザインや調度品について解説「武田五一と京都府立図書館」(H29.10.9)
		(47)	旧館家具・建設具材等を活用した空間演出			
14	入りやすく利用しやすい空間の構成	(48)	府立総合資料館との連携による古典籍の複製等の展示			
		(49)	吉田初三郎鳥瞰図を活用した京都案内			
14	入りやすく利用しやすい空間の構成	(50)	来館者の目的に応じた資料や情報への的確な誘導	○来館者への的確な誘導《継続》 ▶ インターンシップの学生によるコンシェルジュの試行(10.30～11.4) ○屋外空間の活用《継続》 ▶ 音の図書館 府立鳥羽高校吹奏楽部による演奏 8月11日(土) 17:20～18:00 観客250名 ▶ 岡崎ときあかりannex2018 ・9月15日(土)書道パフォーマンス実施 府立洛西高校書道部、府立菟道高校書道部 観客300名	○来館者への的確な誘導《継続》 ▶ インターンシップの学生によるコンシェルジュの試行(10.30～11.4) ○屋外空間の活用《継続》 ▶ 音の図書館 府立鳥羽高校吹奏楽部による演奏 8月11日(土) 17:20～18:00 観客250名 ▶ 岡崎ときあかりannex2018 ・9月15日(土)書道パフォーマンス実施 府立洛西高校書道部、府立菟道高校書道部 観客300名	◆ 来館者への的確な誘導《継続》 ▶ 入口(風除室)及び前庭に案内パネルを設置(H29.3.28) ▶ 風除室・エントランスに必要な情報を展示 ▶ 京都府立図書館の概要のわかるパンフレットを作成(2,000部) ▶ 大学生ボランティアの協力によるコンシェルジュを試行的に実施(H30.3.6～3.18) ◆ 屋外空間の活用《継続》 ▶ 「音の図書館」で府立北校高等学校吹奏楽部による野外演奏会を実施(H29.8.11)
		(51)	岡崎地区での立地を活かした屋外空間の活用			

平成30年度上半期取組状況について

項 目		具 体 策		30年度事業計画 重点取組事項	平成30年度 取組状況 (H30.10月末時点)	平成29年度 取組状況 (H30. 3月末時点)
15	職員の育成	(52)	研修・研究会等への積極的な参加	○研修・研究会への参加《継続》 ▷ 文部科学省等主催の図書館地区別研修等へ参加 ▷ 市町村立図書館職員研修に講師を担当 ▷ 市町村立図書館等の要請に応じた出前研修を試行的に実施(年間3回程度) ○自主研鑽の奨励《継続》 ▷ 自主研究グループ「ししまろはん」への支援	○研修・研究会への参加 ▷ 全国図書館大会(10月19日、20日)3名参加 ▷ 図書館総合展(10月30日～11月1日) 2名参加 ▷ 全国公共図書館研究集会(11月29日、30日)1名参加 ○市町村立図書館職員への研修支援 ▷ 相互貸借初心者研修(5月24日)、レファレンス(初級)研修(7月13日) ▷ 出前研修10月2日(京丹後市)、10月26日(亀岡市)、11月29日(八幡市) ○自主研鑽の奨励《継続》 ▷ 「ししまろはん」による、《没年調査ソンvol.3》の自主研究会への支援(9月22日、参加者15名)	◆ 研修・研究会への参加《継続》 ▷ 文部科学省等主催の図書館地区別研修等へ参加(㊟5回 7名) ▷ 市町村立図書館職員研修に講師を担当 ◆ 自主研鑽の奨励《継続》 ▷ 自主研究グループ「ししまろはん」への支援
		(53)	職員の自主研鑽の奨励や活動の紹介			
Ⅲ 議論し発信する場を提供し、課題を解決する拠点となることにより、文化の創造と地域の活性化に寄与します						
16	「知的な交流の場」の創設	(54)	2階フロアの改修による議論しやすい「知的な交流の場」の設置	○ファシリテーターとなる職員の育成《継続》 ○NPO等との連携による交流企画《継続》 ▷ 知的な交流の場「ナレッジベース」での実験的な取組を実施 ▷ NPO等と連携した知的な交流の場「ナレッジベース」を活用したイベントへの協力・参加	○2階ナレッジベースの「知的な交流の場」としての活用 ▷ 岡崎ときあかりannex2018 ▷ プロジェクションマッピング入門講座(7月1日、8月4日) ▷ 美術評論家による活用講座と参加者交流型ワークショップを実施 ⇒「トーク『名画の読み方』とワークショップ」 ▷ ナレッジベースを活用したサービスデザインチームの活動 ◇ 日本政策金融公庫と連携した「起業相談会」の継続実施(7/4、8/1、9/5) ◇ 大学生によるイベントへの協力 ・「なんでもない地図を語る会」(11月10日)	◆ 「知的な交流の場」の設置《継続》 ◆ ファシリテーターとなる職員の育成《継続》 ◆ NPO等との連携による交流企画《継続》 ▷ 平成29年3月に壁面を改修し備品を充実 ▷ 2階の知的な交流の場を「ナレッジベース」と命名 ▷ 「ナレッジベース」での実験的な取組を開始(H29.10.5～) ○ 「トークイベント」(H29.10.5) ○ 「選ばれし書を語る」(H29.12.19) ▷ NPO等と連携した知的な交流の場「ナレッジベース」を活用したイベントへの協力・参加 ○ 「時刻表から見る日本の近代化」(H29.10.7) ○ 「初心者からベテランまで『時刻表』勉強会」(H30.1.21) ○ 「Deathカフェ@京都府立図書館」(H30.1.27)
		(55)	ファシリテーターとなる職員の育成			
		(56)	フューチャーセンターや発表の場としての機能展開			
		(57)	NPO等他の機関や団体との連携による交流企画の推進			
17	府立図書館の見える化の推進	(58)	府立図書館のミッションの周知と事業の効果的な打ち出し	○ 府立図書館のミッションの周知と事業の効果的な打ち出し《継続》 ▷ 京都府教育委員会の広報ラジオを活用したサービスの周知 ▷ 報道機関への積極的な広報資料の配付と丁寧な取材対応 ▷ 京都府インターネット放送局「生涯学習講座」に「図書館活用講座」等5本の動画を公開《継続》 ▷ 各種講座等の取組のアーカイブをホームページに掲載 ▷ 図書館連続講座のポスターを近隣文化施設・京都市営地下鉄駅に掲示依頼	○府立図書館のミッションの周知と事業の効果的な打ち出し ▷ インターンシップによる岡崎ワールドミュージックフェスタへの参加をとおし、府立図書館サービスの周知(10月21日) ▷ FM京都放送のラジオ出演による広報(9月26日) ▷ 報道機関への広報資料配付17回、新聞掲載11回 ○SNS等を活用した広報について研究 ▷ 京図連協実務研修会「SNSと図書館」 於:アスピア山城(11月28日)に参加を予定 ▷ SNSを実施している他図書館等への調査を検討	◆ 府立図書館のミッションの周知と事業の効果的な打ち出し《継続》 ▷ 京都府教育委員会の広報ラジオを活用したサービスの周知(㊟3回) ▷ 報道機関への積極的な広報資料の配付と丁寧な取材対応(㊟新聞掲載 25回) ▷ 京都府インターネット放送局「生涯学習講座」に「図書館活用講座」等5本の動画を公開《新規》 ▷ ホームページのお知らせ欄を106回更新 ▷ 図書館連続講座のポスターを近隣文化施設・京都市営地下鉄駅に掲示依頼
		(59)	SNS等の多様な広報媒体の活用	OSNS等を活用した広報について研究		
18	各種講座の実施と情報発信	(60)	書籍と情報をめぐる多様な講座の開催	○ 多様な講座の開催《拡充》 ○ 各種講座の展開《拡充》 ▷ 図書館活用講座を毎月実施 ▷ 建築史を専門とする講師による図書館活用講座を実施し、建物のデザインや調度品について解説 ▷ 京都府内で活躍されている研究者の協力を得て図書館連続講座を実施(年間8回) ▷ 図書館連続講座及び一部活用講座では、講演内容に沿った図書資料を会場に展示するとともに関連図書リストを作成し配布 ▷ 府の関係機関と協働した活用講座の実施	○ 連続講座の開催(年8回予定) ①「日本のマンガの不思議な力」京都精華大学教授:4月29日(日)105名 ②「仏教を学ぶことの意味」花園大学教授:5月27日(日)110名(満席) ③「信長・秀吉と初期風俗画」京都工芸繊維大学教授:6月17日(日)103名 ④「日本の有人宇宙活動」:7月14日(土)110名(満席)、 ⑤「歴史都市のつくり方」京都府立大学副学長:9月9日(日)51名<雨天> ⑥「地図と景観から歴史を読む」京都大学大学院准教授:10月14日(日)100名、6回計579名 <今後の開催:㊟11月11日(日)、㊟12月9日(日)> ○ 活用講座の開催 ・「没後100年ドビュッシー」+ナクソス体験(6月30日) ・「京菓子をデザインしてみよう」+ワークショップ(7月22日) ・「歴史秘話ヒストリア西郷隆盛」DVD上映(8月12日) ・「初めての俳句」+ワークショップ(8月19日) ・「東山魁夷」DVD上映、「名画の読み方」(9月29日) ・「岡崎周辺武田五一の建築巡り」(10月20日) ・「リュミエール!」DVD上映、「がんを正しく知ろう」(11月23日予定) ・「藤田嗣治挿絵紹介」+ワークショップ[国会デジコレ](予定)	◆ 多様な講座の開催《継続》 ◆ 各種講座の展開《継続》 ▷ 毎月第三水曜日に図書館活用講座を実施(㊟13回) ▷ 企画展示「杉浦非水の装丁」(H29.5.4～6.21)と関連した図書館活用講座で、国会図書館デジタルコレクションを活用したワークショップを実施 ▷ 建築史を専門とする講師による図書館活用講座を実施し、建物のデザインや調度品について解説「武田五一と京都府立図書館」(H29.10.9) ▷ 京都府内で活躍されている研究者の協力を得て図書館連続講座を実施(㊟6回) ▷ 図書館連続講座及び一部活用講座では、講演内容に沿った図書資料を会場に展示するとともに関連図書リストを作成し配布
		(61)	研究者・団体等と連携した各種講座の展開			
19	行政支援サービスの推進による府民への貢献	(62)	行政機関向けレファレンスサービス・複写サービスの実施	○行政機関へのレファレンスサービス・複写サービス《新規》 ○府庁への資料の配送《新規》 ▷ 議会図書館を窓口とした本庁希望課室への図書資料の配送を実施(H30.4.3～) ▷ 本庁各課室からのレファレンスへの対応を開始	○行政機関へのレファレンスサービス・複写サービス《新規》 ○府庁への資料の配送《新規》 ▷ 議会図書館を窓口とした府庁各課への貸出資料の配送を開始(7課74冊・議会図書館225冊)	◆ 行政機関へのレファレンスサービス ◆ 府庁への資料の配送 ▷ 議会図書館と資料の配送に向けた検討 ▷ 図書資料の配送を希望する課等へ試験的に実施(㊟2課3回・議会図書館4回)
		(63)	府庁への資料配送の実施			
20	サービスデザインチームによる新たな取組への挑戦	(64)	外部の力を活用したサービスデザインチームの設置	○ サービスデザインチームによる挑戦《継続》 ▷ 知的な交流の場「ナレッジベース」での実験的な取組の企画と当日の運営 ▷ NPO等と連携した知的な交流の場「ナレッジベース」を活用したイベントへの協力・参加	○サービスデザインチームの活動 ▷ 日本政策金融公庫と連携した「起業相談会」の継続実施(7月4日、8月1日、9月5日) ▷ 府内市町村図書館によるウィキペディアタウンへの協力・南山城村(7月22日)、京丹後市(9月8日) ▷ 大学生によるイベントへの協力 ・「なんでもない地図を語る会」(11月10日)	◆ サービスデザインチームによる挑戦《継続》 ▷ 2階の知的な交流の場を「ナレッジベース」と命名 ▷ 「ナレッジベース」での実験的な取組を開始(H29.10.5～) ○ 「トークイベント」(H29.10.5) ○ 「選ばれし書を語る」(H29.12.19) ▷ NPO等と連携した知的な交流の場「ナレッジベース」を活用したイベントへの協力・参加 ○ 「時刻表から見る日本の近代化」(H29.10.7) ○ 「初心者からベテランまで『時刻表』勉強会」(H30.1.21) ○ 「Deathカフェ@京都府立図書館」(H30.1.27)